

# 安心・元気・未来創造ビジョン2024 大分県知事講演会でのご意見と回答

## ◆R6.12.11 (水) 南部地域 @保健福祉総合センター和楽 (佐伯市)

No.	参加者からのご意見要旨	回答	ビジョン 関連政策
1	(水産業について) ・佐伯市は水産業で繁栄してきたが、磯焼け等で魚が少なくなっている。水産振興に力を入れてほしい。	・水産資源の回復に重要である藻場の保全を図るとともに、イサキ等の種苗放流、資源管理及び漁場環境の整備を一体的に推進し、水産業の振興に取り組みます。	元気 1 (3)  P83~84
2	(林業について) ・佐伯市のもう一つの重要な産業である林業では、排水設備の整備等を進め、山の産物が安全に産出できるようにしてほしい。	・森林内での安全な作業を確保できるように、林道等の排水対策や維持管理を適切に実施します。	元気 1 (2) P81~82
3	(生活道路について) ・狭く、消防・救急車両が通れない道路がある。防災面から見ても不安があるので改良してほしい。	・幅員が狭い生活道路の解消に向け、市町村と連携して、地域の暮らしを支える道づくりを推進します。	未来創造 1 (3)  P123~124
4	(交付金について) ・佐伯市の合併特例債の適用が令和6年度に終了する。国も進める地方創生の枠組みの中で、交付金の充実などを図ってほしい。	・市町村が地域特性を活かした政策を立案・実行できるように、引き続き行政体制と財政基盤の整備を支援します。	計画推進 のために  P162

## ◆R6.12.25 (水) 中部地域 @J:COM ホルトホール大分 (大分市)

No.	参加者からのご意見要旨	回答	ビジョン 関連政策
1	(被災した商店街の復興支援について) ・今年11月の火事で八丁大路(臼杵市中央通り商店街)が被災した。修学旅行等による来市が途絶えることがないよう、誘致をサポートいただくなど、商店街の復興を後押ししてほしい。	・県内各地域を支える商業の活性化に向けて、修学旅行の誘致に向けたサポート等を含め、商店街の取組を後押ししていきます。	元気 2 (3)  P89~90
2	(防災分野における仮想空間の活用について) ・デジタルツイン等を活用し、避難経路を3次元でバーチャル化すれば、経路を分かりやすく理解でき、災害への備えが充実していくと思う。	・防災対策へのデジタルツイン等の先端技術の活用について研究を進めていきます。	安心 1 (2) P25~26
3	(瀬戸内地域との広域連携について) ・広域周遊観光にとどまらず、瀬戸内との連携には様々な可能性が秘められている。今後の瀬戸内との向き合い方をどのように考えているか。	・東九州新幹線等の整備計画路線格上げや豊予海峡ルート構想に向けた機運醸成など、広域交通ネットワークの充実に向けた取組等を瀬戸内や四国地域と連携して進めます。	未来創造 1 (1)  P117~118
4	(通いの場でのオンライン活用について) ・健康寿命延伸には、高齢者の通いの場が大事になってくる。 ・学校現場の遠隔教育のように、通いの場にもオンラインなどのデジタル技術を取り入れ、内容の充実を図ってほしい。	・コロナ禍では活動継続に向けて通いの場へのオンライン導入を支援しました。今年度は、従来からの体操等に加え、eスポーツなど多様な活動の普及に取り組むことで、通いの場の更なる魅力向上を図っています。	安心 4 (1)  P53~54

## ◆R6.12.26 (木) 西部地域 @日田市民文化会館「パトリア日田」(日田市)

No.	参加者からのご意見要旨	回答	ビジョン 関連政策
1	(東九州新幹線について) ・県民全体が関心を持ち、県民全体で良い形をつくっていくこと、また、大分県だけでなく、九州全体にとって一番良いルートを考えていくことが大事。	・東九州新幹線の整備実現に向けては、整備効果や並行在来線等の課題を県民に丁寧に説明し、合意形成を図っていきます。	未来創造 1 (1)  P117~118
2	(東九州新幹線について) ・私は、久大本線ルートが良いと思っている。また、農林水産物を高速輸送する貨物としての活用も大事。	・また、関係県等と連携しながら機運醸成や国等への働きかけに取り組みます。	
3	(大径材の活用について) ・教育や福祉関係の施設整備に大径材を活用するなど、県産材の利用拡大を進めてほしい。	・教育・福祉関係施設の木造化・木質化など、民間建築物における木材利用の拡大に努めます。	元気 1 (2) P81~82
4	(高齢者の活躍について) ・健康寿命日本一を目指す中で、社会的に活躍できる元気な高齢者が増えていく。どのように高齢者の活躍を後押ししていくのか。	・高齢者が働きやすく、培った知見を活かせる雇用環境を整備します。 ・高齢者が行う生きがいづくり等の事業の立上げ支援や知識・技能を活かせる場とのマッチング支援を行うことで、高齢者の地域活動への参画を促進します。	安心 4 (1)  P53~54
5	(産科・小児科医の確保について) ・日田市では、産科が減り、小児科医の高齢化も進んでおり、子育て環境面で不安を感じている。	・産婦人科医・小児科医確保の取組を含め、安心してこどもを産み育てられる環境整備を進めます。なお、令和5年度からは、近隣に産科がない場合における妊産婦健診等に係る交通費支援にも取り組んでいます。	安心 3 (2)  P43~44

# 安心・元気・未来創造ビジョン2024 大分県知事講演会でのご意見と回答

## ◆R7.1.9 (木) 東部地域 @国東中央公民館 (国東市)

No.	参加者からのご意見要旨	回答	ビジョン 関連政策
1	(宇宙港を巡る取組への支援について) ・国東地域を中心に展開している宇宙港関連の様々な取組を県としてクローズアップするとともに、活動への支援をお願いしたい。	・ドリーム・チェイサーの米国着陸等に備えた準備を進めつつ、宇宙関連ビジネスに挑戦する県内企業を引き続き応援します。	未来創造 4 (3) P143~144
2	(未来を担う高校生の活躍について) ・私たち高校生自身が「安心・元気・未来創造の大分県づくり」に貢献し、輝けるような取組を検討してほしい。	・地域コミュニティでの体験・学習の場を提供すること等を通じて、高校生等が交流の場づくりや祭りの継承等に主体的に参画できる魅力ある地域づくりを進めます。	未来創造 5 (6) P157~158 未来創造 2 (2) P129~130
3	(ロボット普及に伴う未来のしごとについて) ・10年後の目指す姿のイラストに、ロボットが介護をしている姿がある。 ・国東市でもロボットを使った清掃などを目にするようになった。 ・暮らしが便利になる半面、私たち高校生が就きたい仕事なくなる不安を感じている。	・先端技術は人の暮らしを豊かにする手段であり、うまく活用することが大事です。 ・改良やメンテナンス等の面で人が果たす役割が増大しています。 ・こうしたことも念頭に、先端技術を活用できる人材の育成や、新産業の振興に取り組みます。	未来創造 4 (3) P143~144

## ◆R7.1.9 (木) 北部地域 @宇佐文化会館「ウサノピア」(宇佐市)

No.	参加者からのご意見要旨	回答	ビジョン 関連政策
1	(観光誘客等について) ・NHK「ゆく年くる年」で宇佐神宮が中継された。御鎮座1300年祭に向け、弾みがついた。今年は大阪・関西万博もある。記念すべきこの令和7年に、ぜひ多くの人に宇佐市を訪れてほしい。 ・NHKの大河ドラマは「大友宗麟」、朝ドラは宇佐市が誇る疏水事業の父「南一郎平」を誘致できればと思っている。	・宇佐神宮や大友宗麟、南一郎平等の歴史資源を活用したカルチャーツーリズムなど、地域資源を活かした滞在型観光を推進し、世界に選ばれるおんせん県おおいたを目指します。	元気 3 (2) P93~94
2	(防衛的賃上げについて) ・収益が上がらない中でも、人手不足対策や物価高のためにやむなく賃上げに踏み切る企業もあるが、こうした防衛的賃上げを県はどう支援するか。	・賃上げ枠を設けた補助金や賃上げを行う事業者への融資の保証料免除などを通じ、中小企業の経営基盤強化を支援します。	元気 2 (1) P85~86

## ◆R7.1.10 (金) 豊肥地域 @竹田市総合文化ホール「グランツたけた」(竹田市)

No.	参加者からのご意見要旨	回答	ビジョン 関連政策
1	(県政ふれあい対話について) ・知事自ら地域に足を運び、住民と対話をする「県政ふれあい対話」は、参加者みんなが元気をもらえる。 ・去年は私たちの自治会にも来てくれた。ぜひ今後も続けてほしい。	・県民一人ひとりの声が政策の原点という考え方のもと、計画の基本姿勢に「対話」を掲げ、県民の皆さまとともに安心・元気・未来創造の大分県づくりを進めます。	基本姿勢 P12
2	(中小企業の人材不足対策について) ・例えば、観光業では、インバウンドを追い風に客室稼働率が上がっているものの、人材不足が足かせになって機会損失になっている現状がある。 ・県レベルで人材不足対策が進むことを期待している。	・おおいた産業人財センターの拡充・強化も含め、多様な人材が活躍できる環境づくりやあらゆる産業の人材不足対策に全庁を挙げて取り組みます。	元気 5 (1) P101~104
3	(高校生への期待について) ・私たち高校生自身が「安心・元気・未来創造の大分県づくり」の達成に向けてできることはあるか。	・地域コミュニティでの体験・学習の場を提供すること等を通じて、高校生等が交流の場づくりや祭りの継承等に主体的に参画できる魅力ある地域づくりを進めます。 ・ビジョン2024へのご意見があればぜひお寄せください。	未来創造 5 (6) P157~158 未来創造 2 (2) P129~130
4	(地元高校の存続について) ・私たちが通う三重総合高校や竹田高校を存続してほしい。	・地域の高校の魅力向上、特色ある・選ばれる学校づくりを推進するとともに、県内どの地域においても生徒の可能性を最大限に伸ばすことができる遠隔教育システムの導入を進めます。	未来創造 5 (1) P147~148
5	(DX実証における地域団体等の活用について) ・豊後大野の医療MaaS実証実験では、地元薬剤師会もオンライン服薬指導に参与してきた。 ・こうしたDX実証は、大手企業の参入で進めていくことも大事かもしれないが、やはり地域課題や実情を知る地域団体の力が大事になってくると思う。	・地域課題の解決に向け、DXによる生産性・付加価値向上等を目指すに当たっては、実証段階を含め、地域の声や実情も織り込んだ包括的な実証を進めることが大切と考えます。	未来創造 4 (1) P139~140 未来創造 4 (3) P143~144
6	(JR豊肥本線の維持について) ・JR豊肥本線が廃線とならないようにしてほしい。	・路線採算でシビアな面があると承知していますが、JR九州に要望してまいります。	未来創造 1 (3) P123~124